

第3章 新入生および保護者対象調査の結果報告 －奨学金・学生寮に関する集計結果－

(1) 問題・目的

本章では、新入生および保護者を対象とした調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、昨年度の結果と比較して、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

(2) 方法

調査対象者、調査時期、質問項目については、調査の概要に記載されているため、省略する。

(3) 奨学金に関する結果

① 新入生の結果

どのような学生が、奨学金について認知しているのかを明らかにするため、奨学金の認知×奨学金の受給経験、兄弟の人数、住んでいる場所、学生寮の認知のクロス表を作成した。奨学金の認知、学生寮の認知は、それぞれの中で、一つでも認知していれば「知っている」とした。結果を表1-1～1-4に示す。

表1-1 奨学金受給歴 と 奨学金認知度 のクロス表

			奨学金認知度		合計
			知っている	知らない	
奨学金受給歴	あり	度数	29	2	31
		総和の %	90.0%	10.0%	100.0%
	なし	度数	253	116	369
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%
合計		度数	282	118	400
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%

これまでに奨学金を受けたことがある場合は、奨学金の認知度が高く、これまでに奨学金を受けたことがない場合は、奨学金の認知度が低いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表1-2 兄弟姉妹人数 と 奨学金認知度 のクロス表

			奨学金認知度		合計
			知っている	知らない	
兄弟姉妹の人数	2人	度数	158	74	232
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%
	3人	度数	67	29	96
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%
	4人	度数	15	0	15
		総和の %	100.0%	.0%	100.0%
	7人	度数	1	0	1
		総和の %	100.0%	.0%	100.0%
	不明	度数	41	15	56
		総和の %	73.2%	26.8%	100.0%
合計		度数	282	118	400
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%

兄弟姉妹の人数と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表1-3 出身地 と 奨学金認知度 のクロス表

			奨学金認知度		合計
			知っている	知らない	
出身地	国 内	度数	279	117	396
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%
	海 外	度数	3	0	3
		総和の %	100.0%	.0%	100.0%
	不明	度数	0	1	1
		総和の %	.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	282	118	400
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%

出身地と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表1-4 学生寮の認知度 と 奨学金認知度 のクロス表

			奨学金認知度		合計
			知っている	知らない	
学生寮の認知	知らない	度数	38	63	101
		総和の %	40.0%	60.0%	100.0%
	知っている	度数	240	56	296
		総和の %	80.0%	20.0%	100.0%
合計		度数	278	119	397
		総和の %	70.0%	30.0%	100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の認知度が高く、学生寮について認知していない場合は、奨学金の認知度が低いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

また、どのような学生が、奨学金の受給経験があるのかを明らかにするため、奨学金の受給経験×兄弟の人数、住んでいる場所、学生寮に対する認知のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 2-1～2-3 に示す。

表2-1 兄弟姉妹の人数 と 奨学金受給歴 のクロス表

			奨学金受給歴		合計
			あり	なし	
兄弟姉妹の人数	2人	度数	14	218	232
		総和の %	6.0%	94.0%	100.0%
	3人	度数	9	87	96
		総和の %	9.4%	90.6%	100.0%
	4人	度数	4	11	15
		総和の %	26.7%	73.3%	100.0%
	7人	度数	0	1	1
		総和の %	.0%	100.0%	100.0%
	不明	度数	4	52	56
		総和の %	7.1%	92.8%	100.0%
合計		度数	31	369	400
		総和の %	7.8%	92.3%	100.0%

兄弟姉妹の人数と奨学金の受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、兄弟姉妹の人数が多いほうが、奨学金の受給経験が高いことが示されていたが、今年度の結果からは、そのような関連は認められないといえる。

表2-2 出身地 と 奨学金受給歴 のクロス表

			奨学金受給歴		合計
			あり	なし	
出身地	国 内	度数	31	365	396
		総和の %	7.8%	92.2%	100.0%
	海 外	度数	0	3	3
		総和の %	.0%	100.0%	100.0%
	不明	度数	0	1	1
		総和の %	.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	31	369	400
		総和の %	7.8%	92.3%	100.0%

出身地と奨学金の受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表2-3 学生寮認知度 と 奨学金受給歴 のクロス表

			奨学金受給歴		合計
			あり	なし	
学生寮の認知	知らない	度数	3	97	100
		総和の %	3.0%	97.0%	100.0%
	知っている	度数	28	268	296
		総和の %	9.5%	90.5%	100.0%
合計		度数	31	365	396
		総和の %	7.8%	92.2%	100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の受給経験が多く、学生寮について認知していない場合は、奨学金の受給経験が少ないことが示された。昨年度の結果では、有意な関連は認められなかったが、今年度の結果では、学生寮の認知と奨学金の受給経験に関連が見られた。

②保護者の結果

どのような保護者が、子どもの奨学金を希望しているかを明らかにするため、奨学金の希望×奨学金の受給経験、奨学金の認知、学生寮に対する認知、世帯年収、家計支持者の年収、父親の就労形態、母親の就労形態、家計支持者の属性、入学後の暮らし向きのクロス表を作成した。それぞれの結果を表3-1～3-9に示す。

表3-1 奨学金経験 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数	177	140	317
		総和の %	55.8%	44.2%	100.0%
	経験あり	度数	7	29	36
		総和の %	19.4%	80.6%	100.0%
合計		度数	184	169	353
		総和の %	52.1%	47.9%	100.0%

過去に奨学金を受けたことがある場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-2 奨学金認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	55	8	63
		総和の %	87.3%	12.7%	100.0%
	知っている	度数	129	160	289
		総和の %	44.6%	55.4%	100.0%
合計		度数	184	168	352
		総和の %	52.3%	47.7%	100.0%

奨学金の認知が高い場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-3 学生寮認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
寮認知	知らない	度数	92	49	141
		総和の %	65.2%	34.8%	100.0%
	知っている	度数	91	120	211
		総和の %	43.1%	56.9%	100.0%
合計		度数	183	169	352
		総和の %	52.0%	48.0%	100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-4 世帯年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
世帯年収	400万円未満	度数	5	26	31
		総和の %	16.1%	83.9%	100.0%
	400万円以上 600万円未満	度数	7	27	34
		総和の %	20.6%	79.4%	100.0%
	600万円以上 800万円未満	度数	16	32	48
		総和の %	33.3%	66.7%	100.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数	37	41	78
		総和の %	47.4%	52.6%	100.0%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	47	29	76
		総和の %	61.8%	38.2%	100.0%
	1200万円以上 1400万円未満	度数	24	8	32
		総和の %	75.0%	25.0%	100.0%
合計	1400万円以上 1600万円未満	度数	22	2	24
		総和の %	91.7%	8.3%	100.0%
	1600万円以上 1800万円未満	度数	5	2	7
		総和の %	71.4%	28.6%	100.0%
	1800万円以上	度数	18	1	19
		総和の %	94.7%	5.3%	100.0%
	不明	度数	2	1	3
		総和の %	66.7%	33.3%	100.0%
		度数	183	169	352
		総和の %	52.0%	48.0%	100.0%

世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-5 家計支持者の年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者の年収	4 0 0 万円未満	度数	7	35	42
		総和の %	16. 7%	83. 3%	100. 0%
	4 0 0 万円以上 6 0 0 万円未満	度数	10	33	43
		総和の %	23. 3%	76. 7%	100. 0%
	6 0 0 万円以上 8 0 0 万円未満	度数	35	48	83
		総和の %	42. 2%	57. 8%	100. 0%
	8 0 0 万円以上 1 0 0 0 万円未満	度数	46	27	73
		総和の %	63. 0%	37. 0%	100. 0%
	1 0 0 0 万円以上 1 2 0 0 万円未満	度数	45	21	66
		総和の %	68. 2%	31. 8%	100. 0%
	1 2 0 0 万円以上 1 4 0 0 万円未満	度数	17	4	21
		総和の %	81. 0%	19. 0%	100. 0%
	1 4 0 0 万円以上 1 6 0 0 万円未満	度数	10	0	10
		総和の %	100. 0%	0. 0%	100. 0%
	1 6 0 0 万円以上 1 8 0 0 万円未満	度数	1	1	2
		総和の %	50. 0%	50. 0%	100. 0%
	1 8 0 0 万円以上	度数	11	0	11
		総和の %	100. 0%	0. 0%	100. 0%
	不明	度数	1	0	1
		総和の %	100. 0%	0. 0%	100. 0%
合計		度数	183	169	352
		総和の %	52. 0%	48. 0%	100. 0%

家計支持者の年収が低い場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-6 父親の職業 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
父親の職業	フルタイム勤務	度数	165	137	302
		総和の %	54.6%	45.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	3	2	5
		総和の %	60.0%	40.0%	100.0%
	自 営	度数	10	16	26
		総和の %	38.5%	61.5%	100.0%
	無 職	度数	2	3	5
		総和の %	40.0%	60.0%	100.0%
	いない	度数	2	10	12
		総和の %	16.7%	83.3%	100.0%
	不明	度数	1	1	2
		総和の %	50.0%	50.0%	100.0%
合計		度数	183	169	352
		総和の %	52.0%	48.0%	100.0%

父親の職業と奨学金の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果で

は、父親がフルタイムで勤務している場合は奨学金の希望が少なく、父親がいない場合は、奨学金の希望が多いことが示されたが、今年度は、このような違いは認められなかった。

表3-7 母親の職業 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
母親の職業	フルタイム勤務	度数	47	40	87
		総和の %	54.0%	46.0%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	49	64	113
		総和の %	43.4%	56.6%	100.0%
	自 営	度数	9	9	18
		総和の %	50.0%	50.0%	100.0%
	無 職	度数	71	51	122
		総和の %	58.2%	41.8%	100.0%
	いない	度数	3	2	5
		総和の %	60.0%	40.0%	100.0%
	不明	度数	4	3	7
		総和の %	57.1%	42.9%	100.0%
合計		度数	183	169	352
		総和の %	52.0%	48.0%	100.0%

母親の職業と奨学金の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、母親が無職の場合は、奨学金の希望が少ないことが示されたが、今年度の結果では、このような違いは認められなかった。

表3-8 家計支持者 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	176	149	325
		総和の %	54. 2%	45. 8%	100. 0%
	母親	度数	6	19	25
		総和の %	24. 0%	76. 0%	100. 0%
	その他	度数	1	1	2
		総和の %	50. 0%	50. 0%	100. 0%
合計		度数	183	169	352
		総和の %	52. 0%	48. 0%	100. 0%

家計支持者が父親の場合は、奨学金の希望が少なく、家計支持者が母親の場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-9 入学後の暮らし向き と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望しない	希望する	
入学した後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	8	57	65
		総和の %	12.3%	87.7%	100.0%
	あまりゆとりがない	度数	68	91	159
		総和の %	42.8%	57.2%	100.0%
	多少ゆとりがある	度数	87	18	105
		総和の %	82.9%	17.1%	100.0%
	ゆとりがある	度数	19	1	20
		総和の %	95.0%	5.0%	100.0%
	不明	度数	1	2	3
		総和の %	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	183	169	352
		総和の %	52.0%	48.0%	100.0%

入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合は、奨学金の希望が多く、ゆとりがあると感じている場合は、奨学金の希望が少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

(4) 学生寮に関する結果

①新入生の結果

どのような学生が、学生寮を認知しているのかを明らかにするため、学生寮の認知×奨学金の受給歴、兄弟の人数、住んでいる場所のクロス表を作成した。学生寮の認知は、一つでも認知していれば「知っている」とした。それぞれの結果を表4-1～4-3に示す。

表4-1 奨学金受給歴 と 学生寮認知度 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
奨学金受給経験	なし	度数	97	268	365
		総和の %	26. 6%	73. 4%	100. 0%
	あり	度数	3	28	31
		総和の %	9. 7%	90. 3%	100. 0%
合計		度数	100	296	396
		総和の %	25. 3%	74. 7%	100. 0%

奨学金受給経験がある方が学生寮の認知が高く、奨学金受給経験がない方が、学生寮の認知が低いことが示された。昨年度の結果では、奨学金の受給経験と学生寮の認知の間に、有意な関連は認められなかったが、本年度の結果では、このような関連が認められた。

表4-2 兄弟姉妹人数 と 学生寮認知度 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
兄弟姉妹の人数	2人	度数	66	165	231
		総和の %	28. 6%	71. 4%	100. 0%
	3人	度数	22	72	94
		総和の %	23. 4%	76. 6%	100. 0%
	4人	度数	1	14	15
		総和の %	6. 7%	93. 3%	100. 0%
	7人	度数	0	1	1
		総和の %	0. 0%	100. 0%	100. 0%
	非該当	度数	11	42	53
		総和の %	20. 8%	79. 2%	100. 0%
	不明	度数	0	2	2
		総和の %	0. 0%	100. 0%	100. 0%
合計		度数	100	296	396
		総和の %	25. 3%	74. 7%	100. 0%

兄弟姉妹の人数と学生寮の認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表4-3 出身地 と 学生寮認知度 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
本人票・1-3. 出身都道府県	国 内	度数	100	292	392
		総和の %	25. 5%	74. 5%	100. 0%
	海 外	度数	0	3	3
		総和の %	0. 0%	100. 0%	100. 0%
	不明	度数	0	1	1
		総和の %	0. 0%	100. 0%	100. 0%
合計		度数	100	296	396
		総和の %	25. 3%	74. 7%	100. 0%

出身地と学生寮の認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

②保護者の結果

どのような保護者が、子どもの学生寮への入寮を希望しているかを明らかにするため、学生寮への入寮の希望×奨学金の受給経験、奨学金の認知、学生寮に対する認知、世帯年収、家計支持者の年収、父親の就労形態、母親の就労形態、家計支持者の属性、入学後の暮らし向きのクロス表を作成した。それぞれの結果を表5-1～5-9に示す。

表5-1 奨学金経験 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	受けたことがない	度数	23	340	363
		総和の %	6.3%	93.7%	100.0%
	受けたことがある	度数	0	36	36
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	23	376	399
		総和の %	5.8%	94.2%	100.0%

奨学金受給歴と学生寮への入寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表5-2 奨学金認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	1	65	66
		総和の %	1.5%	98.5%	100.0%
	知っている	度数	17	304	321
		総和の %	5.3%	94.7%	100.0%
合計		度数	18	369	387
		総和の %	4.7%	95.3%	100.0%

奨学金認知と学生寮への入寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表5-3 学生寮認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
学生寮認知	知らない	度数	14	147	161
		総和の %	8.7%	91.3%	100.0%
	知っている	度数	9	228	237
		総和の %	3.8%	96.2%	100.0%
合計		度数	23	375	398
		総和の %	5.8%	94.2%	100.0%

学生寮を知っている場合は、学生寮への入寮の希望が多く、知らない場合は、学生寮への入寮の希望が少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表5-4 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
世帯年収	400万円未満	度数	1	30	31
		総和の %	3.2%	96.8%	100.0%
	400万円以上 600万円未満	度数	0	37	37
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	600万円以上 800万円未満	度数	2	53	55
		総和の %	3.6%	96.4%	100.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数	6	82	88
		総和の %	6.8%	93.2%	100.0%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	4	83	87
		総和の %	4.6%	95.4%	100.0%
	1200万円以上 1400万円未満	度数	3	37	40
		総和の %	7.5%	92.5%	100.0%
合計	1400万円以上 1600万円未満	度数	1	23	24
		総和の %	4.2%	95.8%	100.0%
	1600万円以上 1800万円未満	度数	3	8	11
		総和の %	27.3%	72.7%	100.0%
	1800万円以上	度数	0	19	19
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	不明	度数	2	4	6
		総和の %	33.3%	66.7%	100.0%
		度数	22	376	398
		総和の %	5.5%	94.5%	100.0%

世帯年収と学生寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、世帯年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多いことが示されたが、今年度の結果では、学生寮への入寮希望者は、必ずしも世帯年収が低いとは言えないことが示唆された。

表5-5 家計支持者の年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者の年収	4 0 0万円未満	度数 総和の %	1 2. 3%	42 97. 7%	43 100. 0%
	4 0 0万円以上 6 0 0万円未満	度数 総和の %	2 4. 2%	46 95. 8%	48 100. 0%
	6 0 0万円以上 8 0 0万円未満	度数 総和の %	3 3. 3%	88 96. 7%	91 100. 0%
	8 0 0万円以上 1 0 0 0万円未満	度数 総和の %	6 7. 1%	79 92. 9%	85 100. 0%
	1 0 0 0万円以上 1 2 0 0万円未満	度数 総和の %	5 6. 5%	72 93. 5%	77 100. 0%
	1 2 0 0万円以上 1 4 0 0万円未満	度数 総和の %	1 3. 8%	25 96. 2%	26 100. 0%
	1 4 0 0万円以上 1 6 0 0万円未満	度数 総和の %	0 0. 0%	10 100. 0%	10 100. 0%
	1 6 0 0万円以上 1 8 0 0万円未満	度数 総和の %	2 50. 0%	2 50. 0%	4 100. 0%
	1 8 0 0万円以上	度数 総和の %	0 0. 0%	11 100. 0%	11 100. 0%
	不明	度数 総和の %	2 66. 7%	1 33. 3%	3 100. 0%
合計		度数	22	376	398
		総和の %	5. 5%	94. 5%	100. 0%

家計支持者の年収と学生寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、家計支持者の年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多いことが示されたが、今年度の結果では、学生寮への入寮希望者は、必ずしも家計支持者の年収が低いとは言えないことが示唆された。

表5-6 父親の職業 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
父親の職業	フルタイム勤務	度数	20	323	343
		総和の %	5.8%	94.2%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	0	5	5
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	自 営	度数	1	28	29
		総和の %	3.4%	96.6%	100.0%
	無 職	度数	0	5	5
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	いない	度数	0	13	13
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	不明	度数	1	2	3
		総和の %	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	22	376	398
		総和の %	5.5%	94.5%	100.0%

父親の職業と学生寮希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表5-7 母親の職業 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
母親の職業	フルタイム勤務	度数	9	93	102
		総和の %	8.8%	91.2%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	4	118	122
		総和の %	3.3%	96.7%	100.0%
	自 営	度数	0	20	20
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	無 職	度数	8	132	140
		総和の %	5.7%	94.3%	100.0%
	いない	度数	0	6	6
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
	不明	度数	1	7	8
		総和の %	12.5%	87.5%	100.0%
合計		度数	22	376	398
		総和の %	5.5%	94.5%	100.0%

母親の職業と学生寮希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表5-8 家計支持者 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	20	348	368
		総和の %	5.4%	94.6%	100.0%
	母親	度数	2	26	28
		総和の %	7.1%	92.9%	100.0%
	その他	度数	0	2	2
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
合計			22	376	398
			5.5%	94.5%	100.0%

家計支持者と学生寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、母親が家計支持者の場合のほうが、学生寮の希望が高かったが、本年度の結果では、家計支持者が父親の場合も、学生寮への入寮の希望が高い様子が示された。

表5-9 入学した後の暮らし向き と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
入学した後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	3	69	72
		総和の %	4%	96%	100%
	あまりゆとりがない	度数	8	170	178
		総和の %	4%	96%	100%
	多少ゆとりがある	度数	8	113	121
		総和の %	7%	93%	100%
	ゆとりがある	度数	0	20	20
		総和の %	0%	100%	100%
	不明	度数	3	4	7
		総和の %	43%	57%	100%
合計		度数	22	376	398
		総和の %	6%	94%	100%

入学後の暮らし向きと学生寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合のほうが、学生寮への入寮の希望が多かったが、今年度の結果では、ゆとりがあると感じている場合でも、学生寮への入寮を希望する割合が高いことが示された。

(5) 考察と今後の課題

①奨学金に関する考察と今後の課題

奨学金についての新生入生の結果をまとめると、これまでに奨学金の受給経験があるもの、学生寮について認知しているものは、奨学金の認知が高いことが示された。昨年度の調査でも同様の結果が見られており、今年度の結果も、昨年度に沿った結果と考えられる。

また、奨学金の受給経験について、昨年度の結果では、兄弟姉妹の人数が多いものは、奨学金の受給経験があることが示されたが、今年度の結果では、この結果は見られなかった。一方、昨年度は見られなかった結果として、今年度の結果では、学生寮について認知しているものは、奨学金の受給経験があることが示された。学生寮は、経済支援の一環であるが、奨学金の受給経験があるものは、他の経済支援に対する認知も高いものと考えられる。

次に、奨学金についての保護者の結果をまとめると、これまでに奨学金の受給経験があるもの、奨学金・学生寮について認知しているもの、世帯年収・家計支持者の年収が低いもの、家計支持者が母親のもの、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じているものは、奨学金の希望者が多いことが示された。昨年度の調査でも同様の結果が見られており、今年度の結果も、昨年度に沿った結果と考えられる。

新生入生と保護者の結果とあわせて考えると、奨学金や学生寮について認知しているものは、これまでも奨学金を受給したことがある場合が多く、大学在学時も奨学金が必要なことが多いのではないかと考えられる。また、世帯年収・家計支持者の年収が低いものや、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じているものは、総じて、奨学金支援が必要と考えられ、保護者からの希望も高いのではないかと考えられる。これらのことから、必要とされる対象に、経済的支援を行っていくことはもちろん重要であるが、それと同時に、奨学金と学生寮の両方を享受するような重複は、支援をより多く受ける者と受けられなかった者の格差を生じさせる可能性もあるため、他の経済的支援との兼ね合いも考慮した総合的な支援を行うことも課題であろう。

②学生寮に関する考察と今後の課題

学生寮についての新生入生の結果をまとめると、学生寮の認知と、兄弟姉妹の人数、出身地との間には、有意な関連は見られなかったことから、これらの関連は小さなものではないかと考えられる。昨年度の調査でも同様の結果が見られており、今年度の結果も、昨年度に沿った結果と考えられる。

次に、保護者の結果をまとめると、学生寮について認知しているものは、学生寮への入寮希望者が多いことが示された。この結果は、奨学金の希望と同様の結果であり、このことから、学生寮の情報を学生や保護者に広く提供していくことが必要ではないかと考えられる。一方、昨年度は、世帯年収・家計支持者の年収が低いもの、家計支持者が母親のもの、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じているものは、学生寮への入寮の希望者が多いことが示されたが、今年度の結果では、これらの関連は認められなかった。これは、必ずしも経済的な理由から学生寮への入寮を希望するわけではなくなっていることを示唆するものと考えられる。本学には3つの学生寮があるが、各寮において、機能や特徴が異なり、経済的支援の他、教育的支援、他者との共生の場としての機能をもつ「お茶大SCC」もある。学生寮にこうした経済的支援以外の意義が認められてきたことで、年収が低くない場合でも入寮を希望する家庭が見られるのではないだろうか。したがって、それぞれの学生寮の特徴、対象等を分かりやすく明示し、各自のニーズにあった学生寮を選択できるよう、情報提示を行っていくことが課題と考えられる。

(6) まとめ

本章では、新入生および保護者を対象に、奨学金と学生寮の現状と課題について検討した。その結果、主に、以下の2点が示唆された。

第1に、これまでに奨学金の受給経験があるもの、奨学金の必要性が高く、奨学金や学生寮について認知しているものは、奨学金の希望が多いことが示された。

第2に、学生寮について認知しているものは、学生寮への入寮希望が多いことが示された。また、今年度、新たに見られた結果として、年収が高い場合でも、学生寮への入寮を希望しており、必ずしも経済的な理由から学生寮への入寮を希望するわけではないことが示唆された。

これらのことから、奨学金や学生寮は共に経済的支援の一環ではあるが、求められる層が異なり、奨学金は、経済的理由から求められる一方、学生寮は、経済的な面にあわせて、教育的機能などの他の機能も担っており、より広い層に求められているのではないかと考えられる。したがって、奨学金や学生寮の個々の違いや対象についての情報を、より分かりやすく提示していくことが課題と考えられる。